

配送スタッフの『現場の声!』

ふたつの“R”ができること

その2 Radicleの会神奈川支部編

「届ける人、伝える人」の集まりRadicleの会(らでいっしゅぽーや配送法人の団体)と「作る人」の集まりであるRadixの会。Radix News Letterを通じそれぞれの「現場の声」ををご紹介し、そこから「ふたつの“R”ができること」を模索していきたい。配送スタッフの皆さんに、日ごろ見聞き感じていることを語っていただきました。

Report

(有)アブロード
長久保洋介さん

配送担当地区:
横浜市鶴見区、港北区
好きならでいっしゅ商
品:地球まるごとごっ
くん牛乳、プリン



■作る人を思う会員さんが いっぱいいます

生産者、メーカーの皆さん、お仕事ほんとうにお疲れ様です。先日の台風は大丈夫でしたか？ 私たち配送スタッフはビショ濡れになり少し大変でしたが、皆さんが一生懸命大事につくってくれた品物を無事会員さんの元にお届けしました。

私たち配送スタッフの仕事も天候には左右されるのですが、自然と闘うお仕事をされる生産者の皆さんは、

この前のような台風、そして日照りなどの対策はあるのですか？ 無農薬や有機栽培の野菜を召し上がって頂いているらでいっしゅの会員さんたちは、天候のことにとても敏感です。天候の悪い日が続くと、野菜のこと、生産者のみなさんのことを気遣い、心から心配される会員さんが大勢いらっしゃいます。

■最近のらでいっしゅは 良くなった

お付き合いの長い会員さんから良く聞くお話しですが、昔の「ばれっと」は、毎回同じお野菜が入っていたり、虫食いが多く食べられなかったりした

けれど、最近野菜の量も増えて、虫食いも少なく質も良くなったと言われていることがあります。それはきっと、生産者の皆さんの努力と知恵、工夫があったからなのだ、と私は思います。

私が担当している会員さんで、野菜についていた小さな幼虫を、2~3年かけて育てた方や、「ばれっと」に入っている様々な野菜の種類を写真に撮って、夏休みの宿題にしている子どもたちもいます。らでいっしゅの会員さんは、本当にらでいっしゅの野菜が好きです。野菜が足りなくなっても八百屋さん、スーパーで買わずに、「ばれっと」の届くのをお待ちにする方が大勢いらっしゃいます。

こんなすばらしい会員さんのためにも、これからも心のこもった野菜をつくり続けてくださいね。

(有)ラミックス
柏田正弘さん

配送担当地区:
神奈川県湘南・西湘
地区、山梨県

好きならでいっしゅ商
品:デニッシュハウス
のマロンスイート



■欠品はがっかり!

生産者・メーカーの皆さん、いつも「素晴らしい作品」をつくっていただき、ありがとうございます。そして日々本当にお疲れ様です。この場をお借りして、私たち配送スタッフの現場の声をお伝えしたいと思います。

私たちが品物をお届けしている会員様からは、野菜に限らずやはり「おいしかった!」のうれしい声を聞きますが、あえてお伝えしたい声は、「楽しみにしていた品物が届かなくて

がっかりした……」という会員様の声です。

先日の台風15号のとき、卵と牛乳が欠品となってしまいました。多くの会員の皆様は、欠品よりも生産者・メーカーさんのこと、私たち配送スタッフのことをまず心配してくださいました。ありがたいことです。そして欠品の防止はお願いしたいこととしまして、なぜそうってしまったのかの「情報」を、会員様に納得していただけるよう、お伝えすることが重要だと感じました。

■もっと多くの情報発信を!

最近の会員様との話題は「狂牛病」

です。多くの会員様が「らでいっしゅは大丈夫?」「牛乳も平気?」と聞かれます。自分が胸をはって「大丈夫です」とお答えしても、やはり不安げなご様子。生産者・メーカーさんと会員様のパイプ役としてはまだまだです。

今、私たちがほしい道具、それは「情報」だ、と感じています。この商品はどのようなストーリーを経てここにあるのか、皆さんに積極的に情報発信をしていただければ、私たちも今まで以上に自信を持って、心のこもった「素晴らしい作品」をお届けすることができます。私たち配送スタッフも、この誌面から飛び出して、積極的に情報発信していきます!!

これからもどうぞよろしく願いいたします。